

## 令和4年度 会津バスケットボール協会協賛金申込書

令和  年  月  日

会津バスケットボール協会長 様

協会の趣旨に賛同し、以下の通り協賛します。

の欄に必要事項をご入力下さい。

<b>申込種別</b> <small>*いずれかを○で囲んで下さい。</small>	<input type="checkbox"/> 企業・団体	<input type="checkbox"/> 個人	
<b>企業・団体名</b> (ご芳名)			
<b>ご担当者氏名</b> <small>* 個人の場合は記入いた                  だかなくて結構です。</small>			
<b>住所</b>	〒		
<b>電話番号</b>			
<b>FAX番号</b>			
<b>メールアドレス</b>			
<b>ご協賛金額</b>	円	( <input type="text"/> 口 )	
<b>バナー広告                  リンク先URL</b> <small>* 企業・団体様で2口以上                  ご協賛の場合のみ。</small>			
<b>通信欄</b> <small>* ご意見・ご要望等が                  あれば、ご記入下さい。</small>	<small>* 広告及びご芳名の掲載を希望しない場合、その旨をご記入下さい。</small>		

※協賛金額は  
 企業・団体様にてご協賛いただく場合、5,000円を1口とします。  
 個人様にてご協賛いただく場合、2,000円を1口とします。

#### 〈2021 年度総括〉

昨年度も新型コロナウイルスが猛威を振るい各種事業活動が中止や延期を余儀なくされ、施設の使用中止や利用制限がありスポーツ活動の機会が減少してしまい、育成世代のビルドアップに大きな影響を及ぼしております。以前コロナ禍は終息せず、取り巻く環境も厳しい状況が続いておりますが、本年度も新しい生活様式の下、感染防止対策との両立を図りながら各種事業を進めてまいります。大会運営も経験を積み上げられ、高い意識の下、審判員の安全確保を前提に発掘育成に努めてまいります。引き続き皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

#### 〈2022 年度活動方針〉

- ◇ チーム会津を支える審判委員会を目指して  
会津地区の競技力向上のためにカテゴリーの枠を超えて積極的に活動交流できるよう各委員会、各部会との連携を図るとともに会津地区を支え、その一躍を担えるよう審判委員会を目指す。
- ◇ 審判員の安全と安心の確保  
現在のコロナ禍が収束するまでには一定の期間を要するものと考えられるが、そうした中でも各種大会運営に協力するという審判委員会の役割を果たしていく必要がある。そのためには、すべての審判員が安全で安心して活動できる環境の整備が不可欠であり、最優先課題として取り組んでいく必要がある。そのため、各種大会等の実施、運営に当たっては、審判員の安全安心の確保に最大限努めることとし、大会主催者、協会、各委員会、各部会と連携、協議しながら、ガイドライン等を策定し、感染拡大防止策を徹底するとともに、審判員の不安や疑問の解消に積極的に努める。
- ◇ 審判技術を身に付けた審判員の指導、育成  
随時改正されるルールやマニュアル、ガイドライン等には主旨や考え方の伝達を周知徹底しコート上で適切に運用されるよう指導育成に努める。
- ◇ 若手審判員の発掘育成、上級審判員の輩出  
次世代を担う若手、女性審判員等育成に努め、審判員全体の強化に努める。

#### 〈県審判委員会からの伝達事項〉全国審判長会議

- ・JBAU18 リーグ戦(日程未定)など新たな大会がスタートする。今年度はブロックで実施予定。大会が増えることで審判員の派遣依頼が増えると考えられる。
- ・2022 年度競技規則の改訂インプリについて 2022 年 4 月 1 日より適用規則の大きな変更はない。変更箇所も国際大会、あるいは国内トップリーグを想定したケースがほとんどであるので、各県での運営にはさほど影響はないと考えられる。
- ・ライセンス登録関係 3 月 16 日から受付開始
- ・3 級インストラクター新規推薦者の募集 3 月 1 日開始、4 月 1 日から受講開始
- ・競技規則一括発注について
- ・新しいワッペン(3 月中申請)でも 5 月中旬以降になる予定
- ・登録者数が 1 万人減となっている。要因は E 級の更新制度の変更が主だが、様々な会が増え、帯同審判員が求められてくるので確保に努めて欲しい。

#### 〈ルール関連〉

##### 〔競技規則〕

- ・第 15 条 ショットの動作 0.2 秒以下でのショットはほとんど起きないとする。掴むことなく弾く(チップ)
- ・第 18 条 タイムアウト 2:00 以下を除いた場面で認められる

- ・第 19 条 交代 2:00 以下を除いた場面で認められる  
〔インタープリテーション〕
- ・第 5 条 追記: プレーヤー怪我と介助
- ・第 10 条 追記: ボールのステータス
- ・第 15 条 追記: ショットの動作
- ・第 33 条 追記: コンタクト
- ・第 42 条 追記: 特別な処置をする場合
- ・第 7 条 変更: ヘッドコーチとファーストアシスタントコーチ: 任務と権限
- ・第 8 条 追記: 競技時間、同点、オーバータイム
- ・第 24 条 追記: ドリブル
- ・第 36 条 削除: テクニカルファウル・オフenseファウルとフェイク同時適用不可
- ・第 36 条 追記: テクニカルファウル
- ・第 37 条 追記: アンスポーツマンライクファウル
- ・第 42 条 追記: 特別な処置をする場合
- ・第 44 条 変更: 訂正できる誤り・国内ではあまり想定されない
- ・インスタントリプレイシステム 変更・2or3、暴力行為に関する記述が追記・変更  
※各種通達や動画をご覧ください。

#### 〈ライセンス昇格取得者〉

- B級 小椋将行(U12)小林誠司(U12)平田大記(U18)
  - C級 岩沢太陽(U12)田村了(U12)大川原拓也(U12)佐藤剛(U12)  
室井章太(U15)会田大生(U15)眞田隆法(U18)豊岡修平(社会人)
- 昇格者の皆さんおめでとうございます。これまでの努力に敬意を表します。そしてプレイヤーと指導者と共に成長していきましょう。

#### 〈ライセンス移籍等〉

- 移籍 室井真仁B級(郡山東)安達大晃B級(相馬高校)永井国之B級(岩瀬農業)  
新田紳弥C級(安達高校)丸山将弥C級(松陽中)
- 受入 五十嵐敦至B級(会津高校)河西孝浩C級(塩川中)
- 返上 山田幸一B級 平田憲一B級 湯田雅也C級

永年レフリー活動にご尽力いただきありがとうございました。現在の組織があるのも皆様の熱心なそして真摯な活動があったからこそです。言い尽くせませんが心から感謝申し上げます。そしてこれからも引き続き激励とアドバイスそして生涯スポーツとしてのバスケットボール支える側としてレフリーを可能な限り続けていただければと思います。皆様の今後のご健康とご活躍を心よりお祈り申し上げます。

#### 〈審判ライセンス更新新規〉

- 更新手続き
  - ・本年度のライセンス登録をお願いいたします。
- 更新講習
  - ・実技講習B級
  - ・フィットネステストB級  
実技、フィットネステストのスケジュールは現在調整中です。確定次第ご案内いたします。今年も怪我無く頑張りましょう。
- 新規取得
  - ・ライセンス新規昇格審査については事前にご案内いたします。

〈新型コロナウイルス感染拡大防止対策ガイドライン(審判員用)改訂版 20220201〉

1日2試合の審判割当について

安易なダブルの割り当ては行わない。事前の相談、承諾を必須とします。  
ホイッスルカバー及びレフェリーマスクの着用  
着用率も定着してきましたので安全確保の為に原則着用となりました。  
引き続き大会運営についてはガイドラインの遵守と事前相談をお願いいたします。

〈関連資料〉

**福島県審判委員会資料**

新型コロナウイルス感染拡大防止対策ガイドライン 20220201

2021年度第2回審判委員会兼 B 長 BIR 合同会議全国審判長会議資料

2021年度第2回審判委員会兼 B 長 BIR 合同会議全国審判長会議資料(別添資料)

2021年度全国審判長会議報告書

競技規則・プレーコーリングガイドライン・インタープリテーション

※関連資料に関しては県ホームページ、JBA配信をご確認ください。

以上

## 令和3年度総括

今年度は、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の対応に追われた一年間でありました。そうした中で、予定していた多くの各種大会、講習会等の事業について感染対策ガイドラインに沿って実施することができたのは、ウィズコロナにおける大会運営等のあり方について県内審判員の皆さんの理解が浸透し、認識を共有することができたおかげであると考えております。

また、コロナ禍にもかかわらず多くの審判員が審判技術の向上のために意欲的に研修を重ねていただいたおかげで、昨年度は実施を見送らざるを得なかったB級、C級の審査を実施することができました。決して恵まれた環境ではなかったと思いますが、諦めることなく活動を続けられた皆さんに心より敬意を表します。

今年度、審判委員会では、ウィズコロナに求められる大会運営のあり方を模索するとともに、参加審判員の処遇改善に取り組んでまいりました。これは、昨年度の総括で述べさせていただきましたが、バスケットボール競技は審判員が揃わなければ大会が開催できないこと、その大会を開催するためには参加審判員の安全安心の確保が前提条件となること、そして、その環境を整えるためには、県協会を中心としてすべての関係者が立場の違いを超えて相互にリスベクトし、連携する必要があることを今後の課題であると認識したることによるものです。

改善が図られたのであれば、今後の課題として残っているものもありますが、コロナ禍で経験したことを今後の活動に活かすことができよう引き続き県協会、他の委員会と連携を図りながら取り組んでまいりたいと考えております。

最後に、現在のコロナ禍が収束するまでしばらくは我慢の時期になりますが、新年度は必ずや収束することを信じ、山積する課題を地道に、丁寧に解決しながら、すべての審判員が夢や希望を持って活動することができると期待、そして福島県の競技方向上のために取り組んでまいります。

## 令和4年度活動方針

### (1) チーム福島を支える審判委員会を目指して

すべての審判員が福島県の競技力向上のためにカテゴリーの枠を超えて積極的に関わり、活動、交流することができるよう各委員会、各支部との連携を積極的に図るとともに、チーム福島を支え、その一翼を担う審判委員会を目指す。

### (2) 審判員の安全と安心の確保

現在のコロナ禍が収束するまでには一定の期間を要するものと考えられるが、そうした中でも各種大会運営に協力するという審判委員会の役割を果たしていく必要がある。

そのため、各種大会等の実施、運営に当たっては、審判員が安全で安心して活動できる環境の整備に最大限努めることとし、各委員会、各支部、各地区と連携、協議しながら、ガイドライン等に沿って感染拡大防止に努めるとともに、審判員の不安や疑問の解消に積極的に努める。

### (3) 新しい審判技術を身に付けた審判員の指導・育成等

- 毎年のように改正されるルールやマニュアルについては、各審判員がコート上で適切に運用することができるようその趣旨を確実に伝達し、様々な機会をとりえて周知徹底する。
- JBA が定めたライセンスごとの新規・更新講習会を適切に実施するとともに、必要に応じて初心者講習会、各地区講習会等を開催し、日々進化するチームの戦術やプレイヤーの技術とそれに対応した審判技術の理解と普及に努める。
- インストラクター制度を活用し、審判員のライセンスに応じた適切な指導体制を構築し、各種大会等における指導・育成を充実させる。

### (4) 若手審判員の育成、上級審判員の輩出

- 次代を担う若手、女性審判員の発掘・育成に努める。
- 引き続き上級審判員を育成・指導に努め、指導に努め、継続して輩出することにより県全体の審判員のレベルアップを図る。

令和 年 月 日

〇〇大会

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策ガイドライン(審判員用)

主催者名

【はじめに】

新型コロナウイルス感染症の拡大傾向が続く中、主催者として JBA 及び FBA が定めるガイドラインに沿って〇〇大会の開催に向けた準備を進めているところですが、

なお、今大会については、審判員の皆様の安全安心を確保できるよう、下記のとおり〇〇大会新型コロナウイルス感染症拡大防止対策ガイドライン(審判員用)を策定し、感染予防に最大限努めてまいりたいと考えております。

審判員の皆様におかれましては、家庭や職場など様々な場面でご苦労されているかと思いますが、こうした感染予防の取組についてご理解いただき、本県の子どもの競技方向上のため、今大会への参加についてご協力を賜りますようお願いいたします。

なお、今大会の開催に当たっては、県審判委員会と事前に協議を行い、万全を期してこのガイドライン F A Q に基づき、県(又は地区)審判委員会が定めるガイドライン、同ガイドライン F A Q に基づき、県(又は地区)審判委員会と事前にご承知おきくださるようお願いいたします。

また、このガイドラインは現時点のものであり、今後の感染状況を踏まえ、随時見直す可能性ががあります。

最後に、このガイドライン等について不明な点等ありましたら下記のご担当者まで遠慮なくお問い合わせくださるようお願いいたします。

記

※ このガイドラインに定める項目については、県審判委員会として、主催者が大会を開催するに当たり、公認審判員が安心して、納得して参加するために必要と考えられる感染拡大防止対策、さらには主催者として対応、配慮していただきたい取り組みについて、それぞれ項目ごとに整理したものです。

※ このガイドラインに定める項目については、大会を主催する側で実施の可否を検討していただき、適宜修正していただいた上で結構ですが、審判員(特に所属以外の審判員)が参加の可否を検討するに当たり、このガイドラインでは感染拡大防止対策が本十分ではないか、不安が残る、疑問点が多いということと参加を断念し、結果して大会運営に必要な審判員が確保できないということが起きないよう、主催者として事前に十分な周知を行ったうえで丁寧な対応、説明に努めてください。

※ このガイドラインをベースに、各大会の主催者は、県大会であれば各部会審判長、地区大会であれば各地区審判長と十分に協議の上、ガイドライン(審判員用)を作成していただき、各審判員に示したうえで大会参加の案内を行ってください。(JBA から示されているガイドラインで主催者は審判員が参加の可否を判断することができよう感染拡大防止対策をあらかじめ示すことが求められています。)

※ このガイドラインに関する疑問点、不明点などあれば、遠慮なくお問い合わせくださるようお願いいたします。県審判委員会としましても今後の県内の大会運営に最大限協力してまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

【参加申込み、担当について】

〇 審判員の皆様におかれましては、各種ガイドライン等を十分にご確認の上、自由意志、自己判断に基づき参加の可否を判断してください。

〇 今大会は、感染拡大防止の観点から原則〇〇部会所属審判員を中心に運営します。所属以外の審判員の皆様は申込みされても講習が入れない可能性があるので事前にご承知おきください。

また、〇〇部会所属審判員には、水公認審判員(参加チームを指導する水公認の常同審判員、OB 審判員など)も含むこととします。

※ 当面の間、公式の県大会及び地区大会については、所属審判員で運営することを基本とします。(中学、高校の大会に一般の方(社会人連盟、U12 部会所属審判員)が参加し、感染した場合、その方の職場、家族、家庭や地域に及ぼす影響を考慮しての対応となります。)

※ 主催者は、審判員の確保のためにすべての参加チームに対して、水公認審判員の参加の可否をあらかじめ確認し、不足が見込まれる場合は協力を必ず依頼していただきます。

〇 各会場には、新型コロナウイルス感染症に関する担当者(以下「担当者」という。)を配置します。不明な点、配慮して欲しい点等ありましたらお気軽にご相談ください。

〇 各会場到着次第、審判長率にて、担当者へ健康管理チェックシート(2週間分)の提出をお願いします。忘れた方は、大会に参加することができませんので、必ずご持参ください。

〇 各審判員から提出していただいた健康管理チェックシートについては、個人情報取扱いに十分注意したうえで、自治体、保健所等の関係機関に情報提供させていただく可能性があるのでご承知おきください。

○ 今大会は、審判員の申込み状況によっては、○部会所属審判員については1日2試合をお願いする可能性があります。その際には、あらかじめその旨をお伝えし、本人の了解を得たうえで割当てることとします。

※ 原則、1日2試合をお願いするのは、未公認審判員を割当ててもなお不足する場合とし、割当てるのは原則として主催団体に所属する審判員とします。所属外審判員が1日2試合を担当することがないよう配慮してください。

※ 主催者は、所属内外問わず1日2試合を担当する審判員が一定数必要となることが明らかになった場合は、大会の中止又は延期も含めて改めて実施の可否について検討してください。

○ 1日2試合の割当てをお願いする場合は、試合の間隔を2試合以上空けることとします。なお、その間は、会場から離れて過ごしてください。

○ 割当て後に体調に不安がある場合や体調を崩した場合などは、速断なくキャンセルを申し出てください。

○ 今大会は、無観客（又は有観客）を予定しておりますが、参加申込み後に変更する場合は、参加審判員にその旨を連絡し、改めて参加の意思を確認することとします。

【審判員の会場入り、ミーティングについて】

○ 会場への移動については、自家用車の使用を基本とし、公共交通機関の利用については出来る限り控えてください。

○ ゲーム前後のクルー間の一時的ミーティングは、最長15分以内で行うようお願いします。なお、クルー間で事前に電話、メール、オンライン等で打ち合わせを済ませていただくことをご検討ください。

○ 各会場には、事前にクルー審判員と連絡を取り合い、着替え、ウォーミングアップ、ミーティングを含めて担当ゲームに間に合うよう会場入りしてください。また、担当ゲームが終了したら順次、速やかに帰宅していただくようにお願いします。

○ 今大会は、審判主任を配置しません。また、反省、検訓用の映像の撮影につきましてもご遠慮ください。各自、相手審判員と電話、メール、オンライン等で振り返りを行ってください。

【会場での対応、協力依頼について】

○ 各会場では、マスク着用、手指消毒にご協力ください。

○ 各会場の入口において、非接触型体温測定器を用いて発熱の有無を確認しますのでご協力ください。なお、当日、37.5度以上の体温が測定された場合は、入場をお断りさせていただきます。

○ 各会場の審判員専用の更衣室は、十分な広さを確保したうえで、こまめに喚起、消毒を行います。

また、審判員専用の男女別の更衣室を確保し、こまめに喚起、消毒を行います。

※ 主催者は、大会の間隔に当たり、男女別の更衣室が確保されることを確認の上、会場を選定してください。

○ できるかぎり不特定多数の方との接触を避けていただくようコート、審判控室、更衣室以外の場所への移動は極力避けてください。

○ 試合前後のコーチやプレイヤーとの握手や不必要な会話については、極力避けてください。

○ 各試合の間には、消毒を行うための時間を確保することとし、選手や観客の人数、ベンチ・TO・ボールの消毒作業は、主催者が責任を持って行うこととします。

○ 試合球については、前もって用意した除菌済みのボールを使用します。

○ 試合中は、ホイッスルカバナー及びレプアーマスクを原則着用してください。

※ JBA ガイドライン（第3版）では試合中における感染拡大防止対策として審判用のホイッスルカバナーの着用を明記しております。試合を担当した審判員が感染源となる事例や担当した試合のプレイヤーが感染した場合には審判員が濃厚接触者として認定される事例が全国各地で報告されていることを踏まえ、本県においても原則着用するよう周知徹底に努めてまいります。

○ 今大会は、日当（ドリンク代含む）・交通費（高速代含む）・弁当（帯同審判員以外）は支給いたしませんので、審判控室において担当から受領してください。

なお、審判控室での茶室については感染予防の観点から各自ご準備をお願いします。

※ 審判員には自家用車での移動をお願いしますので、ガソリン代に加えて高速代も含

めた交通費の支給について県旅費規程の改正も含めて県協会において検討していただきます。

※ 宿泊を希望する審判員に対しては、これまで通り宿泊費の支給をお願いします。

※ 主催者は、高送料金を含めた交通費の支給を検討してください。

○ コートのフロアには、試合をしているチームのプレイヤー、コーチ、チーム関係者、大会役員、審判員しか入れません。なお、座席制により入場管理を実施しますので、座席がない所での立ち見はご遠慮ください。

○ 今大会、消却用のペーパータオルの廃棄以外のごみについては、審判室合せて原則持ち帰りとなります。

【感染者、陽性患者が発生した場合の対応】

○ 大会期間中、大会参加者の中から新型コロナウイルス感染症陽性患者、濃厚接触者が確認された場合は、主催者は、県（又は地区）協会と連携を図りながら自治体、関係機関に必要な情報を提供し、関係機関の指示を踏まえながら中止又は延期も含めて適切に判断してまいります。

○ 大会終了後 2 週間以内に、大会参加者の中から新型コロナウイルス感染症陽性患者、濃厚接触者が確認された場合は、主催者は、県（又は地区）協会と連携を図りながら自治体、関係機関の指示を踏まえながら適切に判断してまいります。

○ 新型コロナウイルス感染症陽性患者、濃厚接触者が確認された場合の個人情報取扱については、本人のプライバシーに最大限に配慮し、本人又は保護者の承諾を基本として慎重かつ丁寧に対応することとします。

○ 新型コロナウイルス感染症陽性患者、濃厚接触者が発生した場合の関係機関、報道機関等への対応については、主催者と県（又は地区）協会が協議の上、窓口を一本化したうえで責任ある対応に努めます。

※ 大会参加者から新型コロナウイルス感染症陽性患者、濃厚接触者が確認された場合の対応については、自治体、関係機関、報道機関等との協議、報告等が求められますが、参加した審判員が個人で対応するのではなく、主催者、県協会が連絡し、窓口を一本化した組織的に対応することとします。

※ 審判員及びその家族への差別等が行われないよう主催者、県協会が責任を担って対

応することとします。

【その他】

○ 今大会は、感染予防のため審判懇話会は行いません。宿泊される方は、各自夕食をお取りください。

○ 大会終了後、各自、検温を含め 2 週間は体調管理に努めてください。もし、発熱、咳等の新型コロナウイルス感染症が疑われる症状が発生した場合は、必ず主催者に報告してください。

ガイドラインに関する問合せ先 氏名（※）、電話番号

※ 記載する氏名についての具体例は以下のとおりです。

県大会：主催団体の担当者名と部会審判長名の連名

地区大会：主催団体の担当者名と地区審判長名（又は地区部会審判長名）



## 2022年度（令和4年度）「JBA公認D級コーチ養成講習会」実施要項

- 1 目的 JBAのコーチ登録規程に基づき、バスケットボールの基礎的な指導が出来る人材を養成する。
- 2 主催 JBA、一般社団法人福島県バスケットボール協会
- 3 日程 2022年5月15日（日） ※8：00～受付、9：00～17：00講習会  
2022年6月4日（土） ※8：30～受付、9：00～17：00講習会
- 4 会場 5/15（日）福島県立会津学鳳高等学校  
会津若松市一箕町大字八幡字八幡1-1 電話：0242-22-3491  
6/4（土）福島県立磐城桜が丘高等学校  
いわき市内郷内町駒谷3-1 電話：0246-26-3505
- 5 講師 JBA公認コーチデベロッパー 星 博之、秋山 尚、佐藤良平、大内慎也
- 6 受講対象者 JBA公認E級コーチライセンス保持者で、JBA公認D級コーチライセンス取得を目指し、全日程受講可能なコーチとする。  
※旧制度でのJBA公認E1級コーチライセンス保持者は、下記17をご覧ください。
- 7 定員 50名（催行人数30名）
- 8 内容 別紙「2022年度 JBA公認D級コーチ養成講習会日程表」参照
- 9 受講料 受講料13,200円（税込） ※講習会当日、受付でお支払いください。
- 10 テキスト バスケットボール指導教本 改訂版 上巻 2,310円（税込）  
バスケットボール指導教本 改訂版 下巻 2,860円（税込）  
※指導教本をお持ちでない方は、必ず購入の上、講習会に持参ください。
- 11 認定 受講修了者には、JBA公認D級コーチライセンスを認定します。
- 12 申込方法 TeamJBAマイページにログインし、「イベント」→「講習/研修会一覧」から「JBA公認D級コーチ養成講習会」の「申込」をクリックし、必要事項を入力して申込ください。
- 13 申込開始 2022年4月1日（金） ※定員になり次第受付終了となります。
- 14 諸連絡 ①本講習会は、新カリキュラムによる講習会となります。受講者は、2日間全日程への参加が必須となります。  
②受講者には、事前課題があります。福島県バスケットボール協会ホームページにも掲載されます。各自ダウンロードをして印刷し、必ず事前学習に取り組んだ上で、当日受付に提出ください。  
※事前学習を行っていない場合や講習会に事前課題を忘れた場合は、講習会への参加やライセンス認定を認めない場合があります。  
③受講にかかる宿泊、交通費、昼食等は自己負担となります。また、怪我等については一切責任を負いかねますので、各自スポーツ保険等に加入ください。  
④持参物は、バスケットボール指導教本の上巻・下巻、事前課題、筆記用具、昼食、保険証、実技のできる服装、体育館用シューズをご準備ください。  
⑤会場内での貴重品、荷物などの盗難・紛失については一切責任を負いかねますので、各自での管理をお願いします。  
⑥受講される皆様の自家用車等による乗り合わせのご協力をお願いいたします。また、路上駐車や近隣の商業施設等への無断駐車は絶対にしないよう併せてお願いいたします。  
⑦何らかの事情で、本講習会を中止・延期する場合は、開催約1週間前までには受講申込者にメールにてご連絡いたします。

15 JBA公認コーチライセンス（E級、D級、C級）

	JBA公認E級	JBA公認D級	JBA公認C級
講習会開催団体	JBA	福島県	福島県
受講条件	15歳以上	18歳以上 E級、E1級、E2級保持	18歳以上 D級保持
受講有効期間	30日間	2年	2年
資格有効期間	4年間自動継続	1年	1年
更新に必要なポイント	不要	2ポイント	2ポイント
受講料	2,100円（税込）	13,200円（税込）	16,500円（税込）
登録料/年	1,000円/4年	3,000円/1年	4,000円/1年

※ 同一年度内にE級からC級まで取得することは可能である。ただし、受講条件を満たすライセンスの取得（登録）後に、上位ライセンスの受講申し込みが可能となる。

D級<C級>コーチ養成講習会受講者は、E級<D級>ライセンスが取得（登録）済みになっていること。

※ 各級の受講料は、各級最初の講習会時に会場受付で徴収します。

※ 2023年度以降のC級更新時には、4ポイント必要となります。ただし、C級取得後3回目更新まではポイントなしでも更新可能です。

16 有効期限 ①2018年度までにE1級またはE2級コーチの方は、2023年度まで有効です。2024年度以降、E級コーチに切り替える場合は、2023年度にeラーニングを受講してください。

②すでにE1級・E2級をお持ちの方は、E級コーチ（eラーニング）を受講せずにD級コーチ養成講習会を受講することができます。

③E級コーチには、登録証（カード）の発行はありませんので、PDF登録証をご準備ください。

<PDF登録証の出力方法> ※PDF登録証は年度単位で発行のため毎年度出力ください。

(ア) Team JBA (<https://teamjba.jp>) にログイン

(イ) メニュー「証明書出力」>「証明書出力」をクリック

(ウ) コーチライセンスにチェックし、「PDF登録証出力」ボタンをクリック

17 講習会の一部免除について

旧制度でのE1級コーチ取得者

・2019年度からのコーチライセンス制度改定に伴い、2023年度まではD級コーチ受講にあたり、一部のカリキュラムの受講を免除する。

ただし、免除対象のカリキュラムは、D級コーチ養成講習会1日目の午後部分のみとする。

<免除対象カリキュラム> 「バスケットボールにつながるウォームアップ」（1.5時間）

「得点する技術①」（1.5時間）

「一日の振り返り」（0.5時間） 合計3.5時間

・免除対象の受講料は、9,900円（税込）

（事務局）

一般社団法人福島県バスケットボール協会技術委員会指導者養成部長

会津バスケットボール協会強化委員長

所属 福島県立若松商業高等学校 教諭 星 博之

学校TEL0242-27-0753 学校FAX0242-29-7380

携帯電話 090-7934-0241 メール hoshi.hiroyuki@fcs.ed.jp